

市町村提案・実施事業 成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度

25年度

市町村名		藤市				
提案事業名		にぎわいと活力あるわらび創出事業				
事業期間		24年度 ~ 24年度				
成果指標	(成果を検証する指標) ①商店街に週1回以上買い物に行く人の割合 ②クリーンわらび市民運動参加者数 ③代表的な祭りの来客数 ④歴史民俗資料館の入館者数					
	(成果検証の具体的な方法) ①過去5ヶ年平均(平成19年度~23年度)と25年度の市民意識調査結果を比較する。 ②平成23年度と24年度の「さわやか環境の日クリーンわらび市民運動」年間参加者数を比較する。 ③平成22年度と24年度における市の代表的な祭り(苗木市・機まつり・宿場まつり)の合計来客数を比較する。 ④平成23年度と24年度における年間の歴史民俗資料館入館者数を比較する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	②, ④ : A ①, ③ : C	
	従前値 <small>(過去5ヶ年平均: 19年~23年)</small>	①36.4%	目標値 <small>(25年8月時点)</small>	①38.4%	実績値 <small>(25年8月時点)</small>	①31.0%
	従前値 <small>(23年度)</small>	②8,193人 ④32,698人	目標値 <small>(24年度)</small>	②8,500人 ④33,000人	実績値 <small>(24年度)</small>	②8,615人 ④34,276人
	従前値 <small>(22年度)</small>	③490,000人	目標値 <small>(24年度)</small>	③495,000人	実績値 <small>(24年度)</small>	③450,000人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 <small>(人)</small>	(目標) (実績)	稼働率 <small>(%)</small>	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		ホームページ				

【事業効果の整理・原因分析】

平成24年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① わらびりんご特産品開発事業	△	わらびりんごを利用したわらび餅の試作を行ったが、商品開発には至らず、関連する成果指標①については目標値を下回った。ただし、今後の商品化による平成25年度以降のまちのにぎわいと活力の創出に向けた素地を整えることはできたと考えられる。
② コミュニティビジネス起業支援事業	△	1回あたり2時間の食に関するコミュニティビジネスシンポジウム及び講座を6回開催し、計9名が受講し、受講生に起業するための企画・立案を促すことができた 市内での起業者は現れず、関連する成果指標①について目標値を下回ったものの、平成25年度以降のまちのにぎわいと活力の創出につながると考えられる。
③ 安全安心きれいなまちづくりポイント事業	○	6月と12月のクリーンわらび市民運動に併せて、市内商店の買い物などに利用できる地域助け合い事業のポイント「くらしの商品券」13,333枚を、各町会に配布した。ポイントは、各町会において、クリーンわらび運動、公園の美化・清掃活動など町会活動参加者に対して配布された。 関連する成果指標②が増加したことから、町会事業参加を促進し、ポイントの商店街での幅広い流通に寄与することで、まちのにぎわいと活力の創出につながったと考えられる。
④ 観光マップ作成事業	○	24ページの観光ガイドを10,000部作成のうえ、各方面に配布した。関連する成果指標③については目標値を下回ったが、平成23年度と比較すると上回っており、平成25年度以降のまちのにぎわいと活力を創出する素地を整えることができたと考えられる。
⑤ 中仙道藤宿開設400周年特別展	○	10月27日から12月16日まで、藤宿本陣家に伝わる皇女和宮関係資料や歴史民俗資料館所蔵の錦絵など約150点を展示紹介するオータムギャラリー「藤宿開設400年」展を開催した。 関連する成果指標④が目標値を上回っており、まちのにぎわいと活力の創出に寄与したと考えられる。
⑥ 中仙道藤宿開設400周年記念事業委託	○	藤市観光協会に100万円で事業を委託し、1年間を通して、中仙道昔話講演会、チャレンジWalk中山道などの記念事業を実施した。関連する成果指標③は目標値を下回ったが、平成23年度と比較すると上回っており、平成25年度以降のまちのにぎわいと活力の創出につながると考えられる。

【成果検証の総括・改善策の検討】

<p>実施事業について十分に成果が認められた点</p>	<p>成果指標②「クリーンわらび市民運動参加者数」④歴史民俗資料館の入館者数、について、特に関連事業③「安全安心きれいなまちづくりポイント事業」⑤「中仙道蕨宿開設400周年特別展」の事業効果が発揮されたため、目標値を上回ることができ、まちのにぎわいと活力の創出に関して十分に成果を認めることができた。</p>
<p>実施事業について成果が不十分である点</p>	<p>成果指標①「商店街に週1回以上買い物に行く人の割合」③「代表的な祭りの来客数」について、関連事業①「わらびりんご特産品開発事業」と②「コミュニティビジネス起業支援事業」の事業効果が思わしくなかったため、目標値を下回ってしまい、まちのにぎわいと活力の創出に関して成果が不十分となった。</p>
<p>成果検証を踏まえて今後の改善策</p>	<p>「わらびりんご育成事業」、「コミュニティビジネス支援事業」について、広報蕨、市ホームページなどを用いた更なる情報提供・周知を行い、まちのにぎわいと活力の創出を図っていく。 「安全安心きれいなまちづくりポイント事業」は、引き続き実施し、商店街の積極的な利用を促進していく。 また、商店街活性化事業費補助金の充実や、蕨市にぎわいまちづくり連合会との連携による空き店舗有効活用事業補助金の積極的な活用を図ることで、まちの活性化を図っていく。</p>

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」事業効果の発現がほとんど認められない